

武雄市議会だより (Web版) 始めました

栄八通信

栄八通信 検索
栄八通信で検索

第60号

H 27 年 1 月 4 7 10 月 発行



武雄市議会議員
宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

小松市長の「対話」と平成27年度予算

1月に就任された小松市長だが、今3月議会をもって新市長のカラーが見えて来た。

それ以前は、私に市民の方から「新市長はどうね」と何度もたずねられたが、特に話もしていないので分からないが、前市長の目玉政策であった、キッズライブラリー(文化会館大ホールを解体して、子供図書館を作る)計画について、小松市長は、建設を前提とせず、子供の読書の場所を作るとの方針が出されていたので、市民の方には前市長の後継といえなくとも、少し考え方や、方針は違っていたのではと答えていたが、明確には分からず。

ただ、今3月議会での一般質問等の答弁を聞いて、誠実で、筋の通った方針で、ある意味感心した。特に、対話を重視した市政運営を強調されていた。

これに関して、議員が、市長に選挙中に、小松候補のスローガンが、前市長と同じ、「前進か後退か」から、途中「前進と対話」に変わったのはなぜかの質問があつた。それに対し、選挙中に市民の家庭で、「これまでの市政運営に、対話が不足していた」との意見をもらった事から変更したとの主旨の答えだった。

一方、谷口氏は「ぬくもりと対話」だったので、選挙で「対話」を望む市民の声が、小松氏のスローガン修正として取れんしたとも言える。こう考えると、無投票でなく、谷口氏が、出馬されたことが、市民の望む、対話を重視した市政への流れを作ったのではないかと考えている。

【H27年度予算の概要】

一般会計は、227億円で、H26年度228億円とほぼ同じ。

また、新市長の就任の時は、普通骨格予算になるのだが、本予算となつている。

その中で、政策的な投資と見られるのが、新庁舎の実施設計の委託料7500万円。武雄小や武雄中の体育館の新築、北方小の校舎の大規模改修、武雄北中学校の校舎改築など、6億5千万円程度が予算化されている。

また、新年度、新規の市道認定が同時に9ヶ所もされ、里道の市道化や、東部開発に伴う周辺道路整備なども約1億4000万円程度付いている。

また、放課後児童クラブ、3年から6年まで対象者が拡大され、約1500万円も予算化。

一方、注目する点は、H26年度予算の補正で、安倍のミクスの地方創生からみて、武雄市に約1億5千万円程度来る。その為に、武雄市の事業提案が、県に提出され、審査されていて、認められれば、H27年度で事業は行う。

ちなみに、14項目あり、金額の大きい物、また特徴のある物は、プレミアム付商券 2500万円、住宅リフォーム助成 3111万円、楼門百周年あかり展 1600万円、また武雄市戦略策定 200万円、トピカル新規作物 510万円などもある。

また、H26年度末にさらに、国保に5000万円を入れ、H26年度は合計1億円。

一方、企業会計である水道事業は、H26・27ほぼ収支0なので、さらなる値下げの為に新たな改革の取組みが必要。

新幹線フル規格 小松市長も推進

今議会、議員からのフル規格化に対する市長の考えを問われ明確にフル規格化への賛同の答弁。

ただ、以前より伝えていた様に費用、800億円を支出する、佐賀県は、前古川知事も、新山口知事も、県多額の負担や、H35年の佐賀国体に、間に合わせる為にフリーゲージでまず整備して、その後、課題としてフル規格を位置づけている。

この財源問題、現在の整備新幹線の1/3負担について、前市長は、東海道新幹線の様に、全額国費ですべきとの主張だったが、そ

公園整備はリノベーション 四季の丘(北方町から)

新市長の政策の柱の一つに、公園整備があつた。前市長も、近年、甘久地区の母親の方からの要望があつたとして、公園整備の方針を示されていた。しかし、その内容は、地区の公園整備と違うことだった。

ただ、私としては、まず、各地から車でこれる拠点公園の整備が必要と思つていたので、今議会、小松市長に、公園整備の基本的な考え方をたずねた。それに答え、新たな公園は作らず、北方町の四季の丘公園を、リノベーションするとの方針。ちなみに、リノベーションとは、ビルやマンションを、場所や骨格部分を変えずにそれ以外は、前のイメージを大きく変える位みちがえさせる意味。

また、市長は、人気のある公園

れば、県にも武雄市にとつてもベストだが現実的には困難と思つてきた。

一方、今、はつきり決まっていた事は、7年後のH34年までには、
①肥前山口ー武雄温泉間の複線化
H28年開始しH34年の工事完了。
②武雄温泉ー長崎間のフル整備。
現在、フル規格の工事が東川登地区で行われている。

一方複線化に対し、朝日町や北方町は、水害時への対応や踏切り通過が1日60本も増加する事に対し改善の意見が出ていた。

H25・26年にかけて、県内、6市4町からフル規格化の意見書が採択されている。主な理由は、踏切りの解消にあると思われる。他方、長崎市は、計画の遅れを懸念していたが、フル化は打出しない。

新しい話としては、時速270kmで時間短縮効果が少ないとフリーゲージを、新幹線と同じ、300km出せる様に県は改良を要望しているらしい。

私自身は以前より、秋田新幹線の様な3本線化かフルならば、多久からトンネルで新島橋まで行く北部トンネルルート(宮本案)しか実現できないと思う。

として、「干潟よか公園」を上げられたが、大規模な遊具があり、もし四季の丘に導入できれば、結構人気が出るものと思われる。

一方、これまでの武雄市は、公園は、樹木剪定などの管理が中心で、白岩は都市計画課・SL公園は子ども部の未来課、四季の丘は北方まちづくり課、山内中央公園は、山内まちづくり課とばらばらで、これまで、公園の今後の方針をたずねても、全体を統轄する担当がないので、明確な返答がなかった。そこで、今回の四季の丘リノベーションは、だれが担当するのかとの質問に、市長は、はっきり都市計画課が担当と明言。

H元年のふるさと創生のアンケート1位の公園整備が、約30年をへて、実現することに期待する。

西部ゴミ処理場H281月稼働と 杵藤クリーンセンターの今後

伊万里・有田・杵藤地区の市町で作る、西部環境組合が、若木町に近い伊万里市の松浦に、日処理量約200tもの新ゴミ焼却施設を建設している事は、以前より伝えていたと思う。

いよいよ、来年の1月より、運転を開始する。費用は、焼却施設、粗大ゴミ施設で143億円で、用地、人件費を含め約170億円。処理施設は15年程度は使えるので、17年として、年約10億円の負担とも見れる。

一方、現在、施設の運転事業者の入札が行われていて、予定金額がH30年度までの3年3ヶ月で約18億5千万円とされ、年額は約5億6千万円。

一方、私が、以前より、運転業者の1社入札の心配を言っていたが、その点については、西部組合の議会でも問題になつていて、今回2社、建設した、新日鉄住金系に加え、全国的管理会社の日本管財系が参加する模様。それに地元業者とのベンチャーや地元雇用30名程度も条件に入っている模様。

また、利用者の市民側から見ると、武雄市は、センターに、個人で持込めなかつたが、今後は伊万里市方式で個人持込ができる。また、シャフト炉(鉄燐鉱炉)方式で、コークスを燃した上にゴミを投入し、2000度と高温で処理する方式なので、このコークス(石炭加工品)の費用を減らす為には、廃プラスチックなどを多く投入した方が経済的になる。

そうなるかと、武雄市などの、ペットボトルやプラスチックをわざわざ費用をかけて、分別リサイクルする必要はあるのか?の選択が必要になつてくる。

私の考えとしては、容リ協会に分別して出しても、製品限定でなく燃料としての利用もできるのだから、運送費をかせぎ、自己でエネルギー回収したが、エコと思う。また、施設には、売電用の発電機も付いていて、現在、年間1億円の収入を予定しているのだから、その安定の為に、プラ活用が課題。

【杵藤クリーンセンター】
こちらについては、12月まで受入れ、H28年度は、解体の為にダイオキシンなどの調査や解体の設計。H29年度解体の模様。

もちろん、処分場の水処理は続けられて行く。ただ、まだ灰の処分場が半分程度空きがあるので、残土処分場として、ある程度埋め待たせられる。一方、別の問題として、運転の終了で赤字の工業用水の約40%の使用が減る事もある。



現在の四季の丘公園の遊具



建設中の西部広域ゴミ処理場

サンタの誓い || オール武雄 || キング牧師の演説

下水道のエリア変更(川良・下西山)と基本料金の一部値下げ

【公共下水道エリア変更】
元々の旧武雄市の公共下水道や農業集落排水事業の計画エリアの工期を単純に合計すると、1000年分かかる計算となり、私は市町村整備型の合併浄化槽事業の導入をすべきとの提案をして来た。

それは、一世帯当りの、整備費が、農排600万円、公共下水道400万円、合併浄化槽100万円程度になることから、同じ予算なら、5倍も早期に環境整備がされるかの考えから。

結局、市も市設置型浄化槽に踏み出したわけですが、それまでは、担当職員と口げんか状態も長かった。行政は、計画を変更すると、前の計画が、間違っていたと思われ、行政は、いやなのが、プライドが高いのか、変更にも長時間を要し、市民の為にない時も多い。

現在、武雄町の中心部のみを、公共下水道で設備しているが、そ

れは、市街地で浄化槽を埋める用地がない場所を念頭にしたものだった。だから、さらにスピードアップには家屋の密集の少ない川良や下西山の北側を戸別(市設置型)浄化槽地区への変更を数年前から提案していた。

市もエリアマップ見直しをH26年度に、今3月に決定したことで、内容は、私の提案と同じようなもので、ほっとしている。

ただ、実際の、正式変更は、H28年度からとのこと、たとえば今年、新築したり、改造しても戸別浄化槽に加入できないので、みすみす、補助金型を個人で設置する事となる問題があるので、それに対しての配慮が必要と思う。

【料金の値下げ】
一方、下水道料金について、水道料金と同様に、5㎡・10㎡までの基本料金が使用量に応じて段階的に下がる模様。

基金130億円の収益的運用へ

今議会、他議員の質問で、大分県の国東市が、基金の運用で、利回り1.9%。金額で、約2億円の運用利益を出している。この新聞記事をもとに、武雄市も、もつと基金の活用に入力するべきとの指摘。

市も取り組む意向だが、私も議員として、少し関心が薄かった事を反省している。それは、旧武雄市の時、当時、日の出の勢いだっただけで、マイカル債が会社の倒産によって市に損失がでた問題があり、会計課にまかせていた方がベストとの認識があったから。

現在の、武雄市の基金は約130億円で、当面の資金繰りに必要な薄利、約56億円の、国債3億と大阪債5億の計8億は債権。残りの48億は、地元金融機関の利用の面もあり、1年定期で運用、金利は0.2〜3%と言う。

一方、国東市は、余剰基金、120億円で、約50億円を銀行の定期、残りの約70億円を国債、公共債を保有している。

私は、単純に、地元金融機関とのおつきあいを減らし、国債の購入にシフトすれば、利益が上がると思っただけ、よく調べてみると、今は、国債は、5年物でも、0.35%程度で、どう考えても、先の国東市の1.9%にならない。

そこで、思い切って、電話して、たずねて見ると、10年物などの長期国債の市場売買での利益金が中心との話。だから、国債の保有でなく、国債の商取り引きによる利益。国東市は、金融に精通した職員に頼るが、武雄市の場合、当面提案してもらったのが現実的。また、支払いに必要な基金の額の精算も必要。

競輪場改築の おおまかなスケジュール

競輪場の
完成予想図



競輪場がいよいよ、今年10月に改築に入り、約1年後のH28年9月に新装オープンとなる。

同時にバンク(走路)もこれまでの表面改修でなく路盤を掘って改築になる。

改築の概要としては、北側はすべて解体して、メインスタンド棟に、売場・食堂などが集約される。その空いたスペースに駐輪場も一部併設される。また、課題となっていた見づらいアナログ映像も、デジタル化される模様。

一方、改築での気になるのが、財政的な面。まず、1年間の本場開催休止に伴う収支ですが、年間の収入の約50%を売り上げる開設記念を今年は解体前の5月に、来年は、完成後の11月以降に行うように調整し、赤字化を避けたい。

一方、改築費用は、スタンド工事が、約15億円とバンク工事が、約2億円の合計17億円と見込む。H26年度末の、競輪の特別会計は、基金の残高が、12億円なので、単純計算として、5億円は、本会計か、銀行から借り入れる形となると思う。

その5億円は、最近、全国の場外発売もあって、年間、1億円程度の利益があるので、半分の5千万円を10年払いでいけるのではないかと、私は考えている。

今議会では、リニューアルと同時に、子供の遊び場を充実してはとの質問に、いくぶんその意見をくむような市長答弁もあっていた。現在は、パース図(概要)しかないが、近年公営レース場は似た形に改修されていて、今回武雄は松山競輪場を参考にしている。ネットで調べれば完成後が想像できる。

武雄バイパスH29年完成 34号線「連結道」の整備を!

現在、北方町の大崎のパンコ店の南側の田んぼの中に、大きな道路工事がされているのに気づかれると思う。これが、3年後のH29年に、ユートクの南に整備されている、北方中央線と連結し、武雄方面からバイパスで佐賀方面に向かう車は、そのまま、北方中央線方面に向かうと思われる。その先は小学校の通学路で、道も狭く陸橋もあり、バイパスからの多くの車を混乱なくさばけない。

国は、眼鏡市場の交差点で逆Z型に国道34号線に出ることを期待しているが、私は、大型は、別としても、普通車は、北方中央線の途中を改良して、ダイレックス横あたりに「34号線結道」を絶対作るべきと必死に提案している。

念願の、大崎地区の渋滞緩和(伊万里・多久地区からの合流)が国の寝かしていた土地を活用して生まれたチャンスを生かしたい。



橋口氏への名誉毀損問題 正式な謝罪は必要では

前市長による、市民(橋口氏)に対する、名誉毀損裁判がこれまで続いていたので、発言を控えていたが、私自身は、明らかに、市としてちゃんと謝罪すべきと思う。

前市長が、東北の震災ガレキを柵川クリーンセンターで処理すると言っていた時期、議会の一般質問を借りて、他市議が、橋口氏は、市長がガレキ搬入した場合裁判すれば勝つと言った。また橋口氏は、お寺で、宗教を利用して、受け入れ反対運動をしているとの話があり、市長の考えを問うた。

市長は、それに答え「彼はふざけた事を言う・・・」など、市の代表である市長が、激しく市民個人の人格攻撃をされた。

私は、そのやり取りを聞いていて、この場で反論できない市民の名前を出して良いのかと思っただけ。橋口氏が、宗教を使った

反対運動にはやりすぎだと思っただけ。しかし、次の日、内容を聞くと橋口氏は、裁判するとも言っていないし、寺の草取り奉仕を3人でしている休憩中に雑談していただけとの話で、これは事実無根の名誉毀損もはなはだしいと思っただけ。

当然、市は、いくらかの慰謝料の支払いと謝罪は必要と思っただけ。

一方、裁判では、聞く方から見れば、質問と答弁は一体の物と受け取れるが、裁判では、市長の「ふざけている・・・」もし間違っていたら訂正する」と言っていた。しかし、ブログから削除されただけで、いまだに、真実の確認や市報などでの市からの明確な訂正や謝罪はなされていない。橋口様に申し分けない。

コンビニでの 住民票発行に期待

日中、時間をつぶして、市役所までわざわざ、住民票や印鑑証明などの証明書を取りに行く手間はこの電子化の時代、努力の無駄で不合理と常々思っていた。

また、現在、本庁舎駐車場が、新幹線用地に取られるなど、駐車場不足の観点からもコンビニでの発行を提案していたが、前市長の時は、実施に至らなかった。

今回、小松市長に変わった事や、新庁舎の機能を考えるに当たっても市民課のスペースや住民サービス向上を考えれば、近くでのコンビニでの証明書発行はすべきと質問。

市からは、住基カードの発行は少ないので、マイナンバー制度とともに考える事だった。これは国が国民一人一人に番号を今年10月ごろに割り当てられるらしく、もしそうなら、近いうちに証明書コンビニ発行が実現するかも。

ふるさと納税 武雄市本格化へ

今話題のふるさと納税だが、私は、市民の方に申し訳ないが、納税が増えれば、交付税が減るだけと思っただけ。しかし、もう自治体は、税でなく、寄付金とのことで、国の交付税の減少にならなると知って急に積極的。

市もこれまで、使い道を指定できる普通の寄付の基本形。

ただ、いま人気の玄海町は、肉や魚など、寄付額の8〜9割近くを地元産物で返礼し、主な目的を寄付金の増加でなく、地元産品の返礼の購入による、産業振興にしている。その為発送作業も多く、町職員の労力が取られないように、シダックスなどに業務委託してある。一方、武雄市は、50%の返礼でH27年度約6000万円、95%の返礼を目指す。①返礼②クレジット納付③ポイントなどの方針を決めれば、億円の寄付は集まると思う。